

高速増殖原型炉もんじゅの2次系ナトリウム漏えい事故について

平成 8年 1月23日
動力炉・核燃料開発事業団

1. 経緯

平成7年12月8日、「もんじゅ」の2次系（Cループ）において、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動停止した。

漏えいが発生した1次及び2次主冷却系Cループのナトリウムをドレンした後、原因究明のための準備作業と2次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業を実施し、現在当該配管の保温材撤去作業を行っている。

2. 最近の状況

1月16日より、漏えい部近傍の保温材撤去作業を開始した。

保温材の撤去作業は、16日にエルボー部の外装板を取り外し、17日には第1クランプ部の外装板を取り外した。

18日は第1クランプ部の第5、6層の保温材を撤去した。

19日は第1クランプ部両側の直管部の外装板を撤去した。また当該配管室の床・壁の清掃を開始した。

20日から22日にかけてクランプ部以外の保温材を撤去し、配管の養生を行った。

3. 今後の予定

保温材の撤去作業を継続し、漏えい部のより詳細な調査を行う。

保温材撤去作業は、1月25日まで行われる予定である。

以上

平成8年1月23日

2次主冷却系ナトリウム漏えい事故の原因調査のための準備作業（配管室内）

注] 12/29~1/3 : 運転直員によるプラント監視、現場パトロールを行う。

実績

□ : 予定